



共 育

2学期の頑張りを確認しよう

2学期が無事終わりました。新しい学校の生活様式のもと、毎日の授業にしっかりと取り組み、コロナ禍で1学期にできなかった行事や活動が制限や制約をしながらできたことは、保護者及び地域の皆様のご理解ご協力があったとのことだと実感しています。本当にありがとうございました。

この2学期は、子どもたちが大いに力を付け、伸びた学期だったと感じています。冬休みの間に、ぜひ、2学期に力を付けたところ・伸びたところを話し合ってください。その際、褒めたり、認めたりすることは大切ですが、どうしたらできるようになったり、よくなったりしたのかを聞いて欲しいと思います。



例えば、「九九がすらすら言えるようになったよ!」と言ったら、「すごいね!」や「よく頑張ったね!」で終わるのではなく、「どうしたら、すらすら言えるようになったの?」と聞いてください。そうしたら、「すらすら言えるようになるまで、何回も練習したからだよ。」や「友だちと一緒に練習したからだよ。」など、本人が自分なりに努力したり、考えたり、工夫したりしたことが出てきます。つまり、成功のプロセスがはっきりとしてきます。

さらに、「どうして、何回も練習しようと思ったの?」や「どうして、友だちと一緒にしようと思ったの?」と聞いていくことで、子ども自身が持っているいろいろな力を知り、今後に活かすことができます。

このように、成功した理由を聞き続け、明らかにすることを「成功の責任追究」と言います。失敗から学び失敗を減らすことも大切ですが、成功の理由を明確にして次に活かし小さな成功を積み重ねていくことが、より自信を付けていくためには大切です。



私たちは、しばしば「これができないのはどうして?」など、できていないことに焦点を当てがちになります。できないことは目につきますが、よいことやできたことは探したり、聞いたりしないとなかなか見つけることはできません。

上手くできたことを当たり前と流さず、なぜ上手くできたのかを振り返ることで、次はもっと上手くできたり、自信に繋がったりと前向きな行動に繋がるのではないのでしょうか。このことを繰り返すことによって、より自己肯定感を育むことができると思います。ぜひ、冬休みに「成功の責任追究」に取り組んでみてください。